

いろいろな障がいについて

内部障がいとは…

心臓や肺など、体の内部に障がいがあることをいいます。

難病とは…

原因が不明で、完全な治療法が今のところない病気です。外見からは病気なのか、元気なのか分かりにくい場合があります。



電車やバスなどで席を譲ってもらえずに、つらい思いをすることがあります。

色弱とは…

色の見え方や感じ方が、色弱のない人たちと違う状態をいいます。色を区別するのが難しいことがあります。

見え方の例

色弱の人でも、見え方はさまざまです。

これは見え方の例なので、すべての色弱のある人が、同じように見えているわけではありません。

色弱のない人



しーがた C型



びーがた P型



でーがた D型



てーがた T型

色弱のある人

盲ろうとは…

視覚と聴覚の両方に障がいのある人を盲ろう者といいます。全く見えなく聞こえない人だけではなく、少し見えたり聞こえたりする人を含みます。視覚障がいや聴覚障がいとは違う独自の障がいです。

目や耳で情報を得ることが難しいため、盲ろう者の手にやさしく触れて手のひらに一文字ずつ書いて伝える「手書き文字」という方法があります。時間をかけてコミュニケーションをとることが大切です。



知的障がいとは…

話す、読む、聞く、計算することなどが難しく、何らかの手助けを必要とする障がいです。難しい漢字を読むことが困難だったり、突然話しかけられてもすぐに答えられなかったりすることがあります。知的障がいの状態は、それぞれ違います。分かりやすい言葉を使う配慮が必要ですが、その人の年齢にふさわしい態度で接することが大切です。

買い物のとき、お金の計算が苦手で代金の支払いに時間がかかります。急がせないで見守ってください。

いろいろな障がいについて

発達障がいとは…

脳機能の発達に関する障がいです。

他人との関係づくりやコミュニケーションなどがとても苦手ですが、すぐれた能力が発揮されている場合もあり、まわりから見て理解されにくい障がいです。



いつもと違っていると、不安になります。



コマーシャルの言葉や、家族の会話の一部を繰り返して言うことがあります。



大きな音が苦手です。耳にあてる道具を使って、音をささげている人もいます。

精神障がいとは…

生活環境やストレスなどが原因で引き起こされ、やる気が出ない、何をやっても楽しめない、勉強が手につかないなど、さまざまな症状がでる障がいです。

誰もがかかる可能性がある一方、通院や、周囲の理解などによって回復し、安定して生活ができるようにもなります。



自分の考えをうまくまとめて伝えられないことがありますが、問いつめたり、いくつも続けて質問したりしないようにしましょう。

他にもいろいろ障がいがあります

例えば、脳の病気などが原因で、「話す」「理解する」「読む」「書く」など言葉に関することに障がいが出て、コミュニケーションをとることが難しくなる人もいます(失語症)。交通事故などが原因で脳に障がいが出て、忘れっぽくなるなどの症状がある人もいます(高次脳機能障がい)。

いくつもの障がいがかさなっている人もいます。外見から分かる障がいもあれば、外見からは分かりづらい障がいもあります。まわりに「見えない」障がいを持っている人がいることを意識することが大切です。